

聖心女子學院

Sacred Heart School, Tokyo





未来を育む森。

自分らしく未来を描きながら

「多様に、グローバルに、よりよく生き抜く。」ために。

聖心女子学院の学び舎は、都心にありながら緑豊かな自然とふれあうことができる恵まれた環境の中にあります。豊かさを育む森の中で、四季の移ろいを感じながら、のびのびと学び、それぞれの可能性を伸ばし、自分らしく開花させていく12年間が始まります。

聖心は、 ひとつの家庭。



休み時間



初等科運動会



休み時間

家族のようにお互いを大切にし、温かく寄り添う、惜しみない心が根づいています。

子どもたち一人一人は、神の愛を受けたかけがえのない存在です。そして、聖心女子学院での学校生活は子どもたちの成長を見守る、あたたかなまなざしのもとにあります。創立者である聖マグダレナ・ソフィア・バラの「聖心はひとつの家庭」という言葉は、すべての児童・生徒の心に根づいています。家族と共にいるような安心感や信頼感の中で育まれた「やさしさ」「思いやり」「人に尽くす心」は、日常生活のさまざまな場面で活かされていきます。



遠足



オーケストラ部



家庭部



ダンス部



理科部 生物班

学ぶことは、 考えること。



3年生 みころ



5年生 理科



6年生 音楽



12年生 選択化学

考える力を伸ばし、
さまざまな状況に対応できる
判断力を磨きます。

学習のスタートは、基礎学力を徹底し、学びの土台を築くことからはじめます。段階を踏みながら基礎・基本をかためることで、新しいことを学び、身につける楽しさを実感できるようになります。また、自ら課題を見つけて考える積極性も養われていきます。日々の授業で考える力を高めながら、学校生活の様々な体験を通して判断力を磨き、自分の内面から生まれる豊かで確かな言葉を発する力や行動力を身につけていきます。



自習風景



3年生 図工



7年生 オーラルコミュニケーション



2年生 国語



じぶんと、向き合う。



御聖堂

長崎研修旅行



祈りの時間は、
自分を見つめ、自分と対話する
時間でもあります。

祈りをはじめ、宗教行事や宗教の授業を大切にすることは、すべての活動の基盤として聖心女子学院の生活全体をしっかりと支えます。毎日の生活の中で祈りの時間を大切にします。自分の心を見つめ、感謝や希望をもって生きる姿勢を養います。神様に愛されている者として自分も他者も大切にする心や、キリスト教の価値観に基づいた思考力・判断力・実践力を段階的に養いながら、自分の生き方を考え、選択できるように導いていきます。



ゆりの行列



聖母戴冠式



Mater Admirabilis
マーテル・アドミラビリス
(感ずべき御母)



みんなを受け入れ、主体的に関わる。



5年生 社会



第1修道院訪問



福祉施設訪問

聖心インターナショナルスクールとの交流



他者のためにできることを自ら探し、実践していきます。

聖心女子学院には、校内だけではなく、校外、国際社会につながる多彩な奉仕活動プログラムがあります。立場の異なる様々な人の存在を認め、積極的に関わる力を身につける機会として、一人ひとりが奉仕の心を持って活動しています。



1年生12年生の交流授業

自分たちで考え行動する

日本は世界の中でも自然災害が起こりやすい地域にあると言われています。そのため、普段から児童・生徒たちは日本だけでなく世界で困っている人々を助けることに対して、迅速に動いています。2025年度はミャンマー、シエラレオネ、ウクライナに向けて児童・生徒たちが自ら募金を計画しました。募金活動はまず写真やイラストのポスターで全校に周知し、募金後は確実に寄付が届くように信頼のおける団体に届けて、その様子を全校生徒に伝える工夫もしています。



レオ神父様に募金を届ける



シエラレオネで活動するAlaziから感謝のパネル



世界を、広げる。



姉妹校1年留学



本校を訪れた姉妹校生徒たち



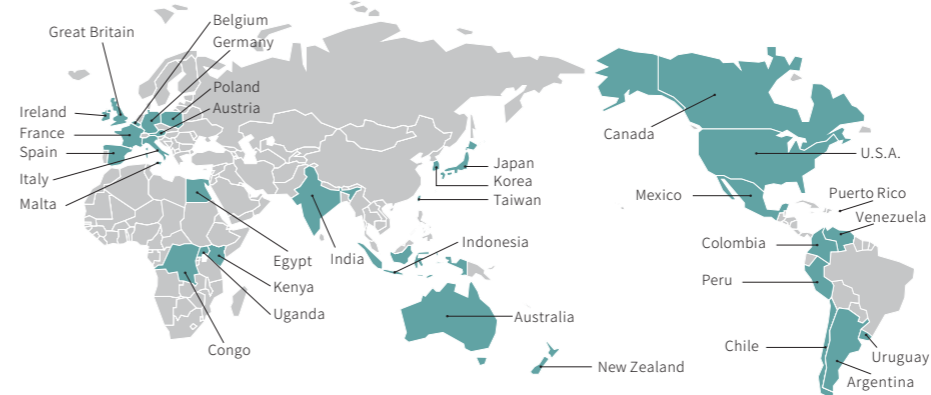
カンボジア体験学習



時代や国境を超えて、
自分らしく活躍できる女性を
育てます。

英語教育だけにとどまらず、国際理解を深め、世界の人々と関わり合える能力の育成に力を注いでいます。姉妹校からの留学生たちは本校生徒の家庭でホームステイをし、お互いの文化や生活の理解を通して、友情を深めています。異なる意見や考え方をもつ他者に敬意をもって接し、人種や国籍を超えて共生する力を身につけることで、一人ひとりの世界はさらに大きく広がっていきます。そして、その中で各々が個性を活かし他者とともに新しい世界を築いていきます。

世界30カ国以上の姉妹校 (2026年現在)



台湾文化交流プログラム



Kincoppal-Rose Bay School of the Sacred Heart (Australia)



Songsim Sacred Heart Girls' Middle and High School (Korea)



Mount Anville Secondary School (Ireland)



Woodlands Academy of the Sacred Heart (U.S.A.)



Sacred Heart Girls Jr. and Sr. High School (Taiwan)



Forest Ridge School of the Sacred Heart (U.S.A.)

国内の姉妹校

聖心女子大学
(大学・大学院) 東京都渋谷区広尾

不二聖心女子学院
(中・高) 静岡県裾野市

小林聖心女子学院
(小・中・高) 兵庫県宝塚市

聖心インターナショナルスクール
(幼・小・中・高) 東京都渋谷区広尾

伝統の上に、 未来を描く。

200年を超える女子教育の伝統は、
新しさを支える強固な基盤となっています。

たったひとりの子どものためにも
私は聖心女子学院をたてたでしょう。



創立者
聖マダレナ・ソフィア・バラ
(1779-1865)

聖心女子学院は1801年フランスのアミアンで、
女子のための寄宿学校として創立されました。
その後フランス各地で設立され、キリスト教的
価値観に基づく魂と高度な知性、行動力を
育む女子教育の伝統を築いてきました。

1818年にはアメリカでも設立され、南米にも
広がり、日本では、ヨーロッパからオーストラリア
を経て、1908年4名の聖心会修道女により
聖心の教育の礎が定められました。

現在、日本では5つの姉妹校が幼稚園から
大学院まで、世界では30カ国以上の姉妹校が
聖心の教育のスピリットを受け継いでいます。

聖心女子学院の歴史

1908 明治41年

オーストラリアより4名の聖心会修道女が横浜港に
到着「語学校」開校 財団法人 聖心女子学院設立



1909 明治42年

白金三光町に校舎・正門落成



1928 昭和3年

関東大震災で焼失した校舎を再建
聖堂・普通教室落成

1978 昭和53年

創立70周年記念行事 ソフィア・バラ ホール落成



2008 平成20年

創立100周年記念行事
デュシェーン ホール (安藤忠雄氏 設計) 落成
4-4-4制開始



生徒ラウンジプロジェクトの様子



新校舎 コモンスペース



新校舎 英語ラウンジ

新しい出会いが、未来を創る。

120周年記念事業 キャンパスグランドデザイン進行中

一人ひとりの可能性を大切にし、ここに集う児童・生徒たちの成長を育むための
キャンパスグランドデザインの計画が進められています。

これまでの伝統を大切にしながら、「学びと出会いの場」へと変える試みです。

主体的な交流の場が広がるキャンパスへ

教室や学年の枠を超え、児童・生徒が主体的に学び、
関わり合う環境づくりを進めています。異学年交流や
発表会など、多様な活動が交差する出会いの機会や
場所を多く設けます。生徒用ラウンジを設ける計画も
生徒が主体となって進めています。

知や世界とつながる学びの拡張

国際や科学、芸術などのゾーニングを進め、より分野
ごとの学びを深められる空間づくりを進めています。
各所に教科の関心を深める「メディアラウンジ」と
ゆとりある「学びの廊下」が設けられます。教室の中
だけにとどまらず、歩く場所が「問い」や「新しい世界」
への入り口となることでしょう。

生徒たちの視点や意見をしっかり反映 生徒ラウンジプロジェクト

ラウンジプロジェクトに応募したきっかけは、まずインテリア
に興味があったこと、そして海外の学校に在籍していた時の
ラウンジ活用体験が生かせるのではないかと考えたことです。
私たちの考えたラウンジが、よりよいコミュニティづくりの一助
となり、これから聖心で学ぶ皆の憩いの場として受け継がれ
たら、とてもうれしく思います。(実行委員長)



上:新校舎 多目的ホール 下:各教科の「メディアラウンジ」の新設



新築棟 外観



18歳までの 12年間を有意義に。



科学文化祭

女子の発達段階にふさわしい
学びの理想を追求した
3ステージ制です。


12年間という長いスパンを4年ごとの3ステージに区切り、成長の早い女子の発達段階を踏まえた、より質の高い教育をめざしています。たとえば、ファーストステージの代表としての役割を担う4年生時には、リーダーシップを発揮する機会が格段に増えるなど、よりよいタイミングで、よりよい機会を多く得ることができます。学習面でも、ステージごとのねらいを明確にしたカリキュラムを備えています。



太陽黒点観測



1年生6年生 学校探検

初等科	1年		1st Stage ファーストステージ
	2年		
	3年		
	4年		
基礎・基本の徹底 少人数で基礎学力を徹底。 学びの土台を築きます。			
中等科	5年		2nd Stage セカンドステージ
	6年		
	7年		
	8年		
定着・習熟・伸長 教科担任制により自主的に 学ぶ姿勢を定着させます。			
高等科	9年		3rd Stage サードステージ
	10年		
	11年		
	12年		
応用・発展・深化 一人ひとりの進路に対応できる、 真の力を育成します。			

一つひとつの経験が、 心豊かな成長を支えていく。

年間行事

	共通行事	初等科行事	中・高等科行事
4月	入学式 前期始業式	春の遠足(1~6年) 学校探検(1・6年) 自然教育園(2年・年4回)	英語実力テスト(8~12年)
5月	創立者祝日 聖母戴冠式	1年生を迎える会 運動会 消防写生会(3年)	親睦の日 漢字コンテスト 体育大会
6月	1日学校参観日 みこころの祝日	下校グループ親子集会 清里 校外学習(5年) 親子防犯教室(1年) 森美術館見学(6年) 英単語検定(6年) ファミリールール(3~6年) ストップいじめ!ナビ(5年)	
7月		水泳教室(2~6年) ハイチデー 御殿場 校外学習(4年) Tokyo Global Gateway訪問(6年)	合唱コンクール 奈良体験学習(9年) 歌舞伎教室(10年) 聖心女子大学説明会(10年) 長崎研修旅行(11年) 黙想会(12年) カンボジア体験学習 韓国体験学習 フィリピン体験学習
8月			SOFISワークショップ 台湾文化交流キャンプ
9月		水泳教室(1年) 清里 校外学習(6年) アーティゾン美術館見学(5年) 秋の遠足(1~3年縦割り) 学年のつと	姉妹校留学報告会
10月	後期始業式 みこころ祭 感ずべき御母の祝日	港区めぐり(3年) English Day(1~4年)	球技大会 大学生による進学体験談(11年)
11月	聖フィリピン・デューションの祝日	作文発表会 水再生センター 社会科見学(4年) 都バス営業所見学(2年) 英単語検定(5年)	千葉体験学習(8年)
12月	ゆりの行列 クリスマス・ウィッシング	ハイチデー 焼き芋大会(1年)	
1月	新年の祈り 百人一首大会(5~8年) 英検(6~10年)	下校グループの集まり 英検Jr.(4年)	English Day(7~9年)
2月		学習発表会 卒業研究発表会(6年) 個人研究発表会(5年) カトリック音楽会(6年) 聖心インターナショナルスクールとの交流(1年)	練成会(7~11年) 送別セレモニー 卒業生の話聞く会(9年) 社会人講師講演会(11年)
3月	卒業式 修了式	ハイチデー 感謝のミサ 6年生を送る会 能教室(6年) 学年のつと	姉妹校留学報告会



セカンドステージ百人一首大会



校外学習



学習発表会



高等科卒業式



みこころ祭



クリスマス・ウィッシング

委員会・クラブ活動

委員会

初等科(4年生より)

児童会
代表委員会
もゆる
放送もゆる
健康もゆる
国際もゆる
情報もゆる
スポーツもゆる
ソフィアもゆる
環境もゆる
図書もゆる
もゆる会

中高等科

生徒会
評議会
幹事会
もゆる会
常設委員会
校内美化委員会
視聴覚放送委員会
聖星委員会(校内新聞)
ソフィア委員会
体育委員会
塔委員会(校内誌)
図書委員会
保健委員会
出席係



クラブ活動

初等科(4年生より)

演劇
科学
コンピュータ
卓球
サッカー
手話
ダンス
手作り
読書創作
バスケットボール
バドミントン
美術
ミュージック
鬼ごっこ・ドッジボール
ボードゲーム
かるた・折り紙

中高等科

■運動部
剣道部
卓球部
ダンス部
テニス部
バスケットボール部
バドミントン部
バレーボール部
■文化部
英語演劇部(EDC)
演劇部
オーケストラ部
家庭部(サードステージ)
軽音楽部
美術部
理科部(生物班・地学班・理化学班)
■同好会
模擬国連
手話
ESS
華道
茶道
百人一首
サッカー

他

多彩なジャンルで活躍する 卒業生からのメッセージ。

たくましくしなやかに つややかに

学術研究

小林聖心・三光町での12年間と大学での4年間の計16年間、聖心の教育を受けました。そこで自然に培われた「たまたま恵まれた環境に置かれた者が、たまたま恵まれない立場に置かれた方と、お恵みを分かち合うのは当たり前のこと」という聖心スピリットが、今までの人生を一貫して導き、支えてくれていると感じます。約15年間、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)、国際移住機関 (IOM)、外務省、法務省などで、世界各地の難民や避難民の保護・支援という分野で

実務家として勤務した後、今は大学教員として、英語と日本語を駆使しつつ教育や研究、政策提言に携わっています。帰国子女でない私が英語でも物怖じせず発信できるのは、聖心の英語教育・国際教育の賜物です。辛いこと、思い通りにいかないことも沢山ありますが、みこころ会館で茶道をお習いした(故)今井貞子先生から頂いた「たくましくしなやかに つややかに」というお言葉を座右の銘にしています。



国際基督教大学 政治学・国際関係学
デパートメント 准教授

橋本 直子さん
79回生1994年卒業

オックスフォード大学院(難民学修士)、ロンドン大学院(国際公法修士)、サセックス大学院(政治学博士)卒業。外務省、UNHCR、IOM、法務省、一橋大学等を経て、2024年4月から現職。同時に法務省難民審査参事員、ロンドン大学難民法イニシアチブ・リサーチ・アフィリエイト。近著に『なぜ難民を受け入れるのかー人道と国益の交差点』(岩波新書)他。

今も私の根底にある聖心での学び

医療

私は現在、産婦人科医として、大学病院で妊婦健診や分娩管理などの産科医療に携わっています。在学中に培った国際的な視野や語学力は、キャリア途中のロンドンへの留学を経てさらに広がり、多様な価値観を尊重しながら医療に向き合う力につながっています。現在は、妊婦さんや胎児の命を守るため、チームで力を合わせて医療に向き合っています。聖心で

過ごした日々の中で、女性であってもリーダーシップを発揮することは特別なことではなく、自然なこととして身につけていきました。また、奉仕の精神は、常に相手の立場に立ち、周囲と協力しながら最善を考える姿勢として、いままチーム医療の中で生かされています。聖心で育まれた学びは、今も私のあり方の根底にあると感じています。



医師 医学博士
昭和医科大学医学部
産婦人科学講座 講師
金子 真由美さん
84回生1999年卒業

昭和大学医学部を卒業後、昭和大学病院での臨床研修を経て昭和大学産婦人科学講座に入局。ロンドンのFetal Medicine Foundationでの2年間の留学を経て現職。日本産科婦人科学会専門医、日本産産期・新生児医学会母体・胎児専門医。

12年間を通じて育まれた内省する力

芸術

母校での十二年間を振り返り、現在の表現活動の核にあると感じるのは、祈りや沈黙の時間を通じて育まれた「内省する力」です。現在は作家活動の傍ら、教育の現場にも身を置いています。表現とは単なる技術の発露ではなく、事物に真摯に向き合い、その本質を掬い上げる行為です。それは正解のない、時には忍耐を必要とする作業ですが、どのような生き方にも寄与する確かな力であると日々感じています。聖心の緑深いキャンパス、聖母子像や

ステンドグラスの光。私にとってのキリスト教美術は、美術史の遠い一片ではなく、生活に溶け込んだ馴染み深いものでした。その歴史が現代まで地続きであることを知ったのは大人になってからのことですが、当時の環境が幼心を豊かなものにしてくれたという実感が、今でも自身の中に息づいています。各々の道を歩む友人たちの存在を励みに、私も自身の表現を深めていきたいと考えています。



美術家
澤崎 華子さん
94回生2009年卒業

東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。博士(美術/日本画)。同大学日本画研究室勤務を経て、現在は美術家として活動。光や面影、移ろいゆく記憶といった目に見えない「かけ」をテーマに、和紙や顔料など日本の伝統的な画材を用いた表現を追求している。郷さくら美術館、帝京大学総合博物館等に作品収蔵。作家活動と並行し、美術教育機関にて幼児から美術の道を志す次世代まで、幅広い層への造形絵画指導にも携わる。

社会に生きるための 人間教育

NGO



公益財団法人日本ユニセフ協会
個人事業部 マネージャー

松本 和子さん
80回生 1995年卒業

世界の子どもたちが直面している現状と、それに対するユニセフ(国際連合児童基金)の支援について日本国内の皆様にも広く知っていただき、ご協力いただくファンドレイジング(資金調達)に取り組んでいます。聖心で学校生活を送るなか、自分と同じ年頃の子どもが困難な状況下で生きているという事実について知り、成長段階にあわせて考える機会を数多くいただいたように思います。社会のなかで共に生きる他者のため、自分にできることを常に考え、祈り、慮り、そして行動するという人間として大切なものを学んだことは、私の財産です。そのスピリットが、未来を担う次世代の多くの方にも引き継がれることを願っております。(※)

聖心女子大学文学部卒業(国際政治専攻)。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス修士課程(エスニシティ研究)を修了後、日本ユニセフ協会に入協。2016年より現職。仕事の傍ら、高等科3年に始めたいけばなを続ける。草月流1級師範常任総務。

聖心で学んだことが 悩んだときの道しるべに

法曹



弁護士
水本 陽子さん
89回生 2004年卒業

聖心では、「他人と比べるのではなく、自分と向き合い、納得のいく答えを見つけること」が大切であると学ぶことができたように思います。卒業後、弁護士として働くようになり、明確な「答え」と呼べるものがない中で、自分はどうかしたらよいのか、どうすべきなのかと悩むこともしばしばありますが、聖心で学んだことが、確固たる道しるべとなって、私を導いてくれているように感じます。また、生徒1人1人に細やかに目を配り、それぞれがかけがえのない存在であると繰り返し示してくださったシスターや先生方、そして、私の良いところも至らないところも知り尽くした上で、ありのままを受け入れてくれる生涯の友人たちは、私にとって、何物にも代えがたい宝物です。(※)

慶應義塾大学 法学部卒業。東京大学大学院 法学政治学研究科卒業。司法試験合格後、2011年より弁護士。

「人と社会のために行動する」教育

メディア



日本放送協会 社会部記者
上田 真理子さん
81回生 1996年卒業

貧困やDVなどに苦しむ子どもや女性たち、事件事故や災害の被害者・被災者などを取材しニュースや番組で伝えています。社会で弱い立場にある方たちに寄り添い、少しでも役に立ちたい、社会の問題を解決したいという報道記者としてのまなざしや原動力は聖心の教育で培われたものだと感じています。国内外を問わず困難な状況に置かれた方たちを常に心にかけて祈りを捧げ、ボランティア活動で積極的に関わるといった学校生活を通し、教育方針である「人と社会のために行動する」ことが自然と身についたのだと思います。また、長年ともに学んだ同級生や先輩、後輩たちとのつながりは深く、社会のさまざまな分野で活躍する友人たちの姿は仕事をするうえで励みにも支えにもなっています。(※)

聖心女子大学 文学部卒業。日本放送協会入局、旭川放送局、社会部司法担当、ニュース7制作などを経て2013年より現職。



在校生の声

創業者「マザーバラ」と、おいのり

わたしは、マザーバラの願いをかなえるために、おいのりを大切にしています。毎朝おいのりする時、マザーバラを思いうかべると、ねむ気が氷のようにとけていき、おちついた気持ちで一日をはじめられます。わたしは(マザーバラが今生きていたらいいのに。会ってみたいな)といつも思います。なぜなら、もし近くにいらっしゃったら、はげまして

くれたり勇気をくれたりするだろうと思うからです。でも、会えなくてもマザーバラのことを考えるだけで、マザーバラが自分をつつんでくれるような気がしてうれしくなります。いつか、世界の人々を元気づけたり、勇気づけたりしてくださったマザーバラのために、わたしも大きなプレゼントを返せたらいいなと思っています。



ファーストステージ生(2年生)

相手と心を通わせる交流や支援について考える

児童会では、昨年度に引き続き、ウクライナの子もたちとオンラインで交流を行っています。交流したウクライナの子もたちは、皆笑顔で、私たちと何も変わらない姿でした。しかし、ウクライナのことを調べると、想像を絶する現実を目の当たりにしました。先生方と話し合い、ウクライナの方々の「心」に少しでも寄り添うにはどうしたらよいか考えました。そして、全校児童に呼びかけて「千羽鶴」を折り、

送りました。「ウクライナの子どもの中には、親が戦争に出兵している子もいるので、心を休める時間になりましたよ」と言っていただき、私たちの思いが伝わり、嬉しかったです。児童会の経験を経て、聖心では、1人ではできないことも皆で力を合わせれば成せるということ、心を通わせるということが相手の力になると感じました。



セカンドステージ生(6年生)
前期児童会会長

隣人愛

聖心では、イエス・キリストの教えである「隣人愛」の体現を目指し、常に他者の存在を意識し、他者に対して愛と思いやりをもって生きる献身的な姿勢を学びます。初等科から高等科まで、一貫して大切にしている朝と夕の祈りは、自身の身の回りのことだけでなく、世界で起きている出来事にも思いを馳せる時間となります。この時間は、せわしない日常の中で、視野を広げ、自分にできることを考えるきっかけとなりました。中・高等科では、初等科から培ってきた「人に尽くす心」を実行に移す力を養うことができました。奉仕活動に頻繁に参加することで、自分の力を惜しみなく他者の

ために使う姿勢の大切さを学びました。また、奉仕活動において大切なのは、支援を一方的に施すことではなく、「隣人愛」の考え方のもと、相手の状況や価値観を偏見なく理解・尊重し、協働していく姿勢であると学びました。他者と相互に理解しあい力を合わせようとする姿勢は、奉仕活動の際にとどまらず、多様な価値観にあふれた現代社会において、重要な力になると思います。これからも、社会に温かい助け合いの輪を広げていけるよう、聖心で培った他者と協働する力を日々の生活の中で実践していきたいと思っています。



サードステージ生(12年生)
奉仕委員会会長

優しさの連鎖が、この学校の最大の魅力

私が聖心での学校生活を通して学んだのは、「自分の力を他者のために惜しみなく使う」という価値観です。私たちにはそれぞれ神様から与えられたタレントがあり、一年生の頃からそれを誰かに生かすため、何事も誠実に取り組み、自分を磨くことが大切だと教わってきました。この学校には、授業にとどまらず、奉仕活動、講演会、委員会、部活動、姉妹校交流などたくさんの機会があります。新しいことに挑戦していく中で、知らなかった自分の可能性に出会ったり、誰かの魅力や努力に気づいたりすることができます。互いに高め合い、その力が自然と誰かの支えになっていくこと、

そして他者は遠い存在ではなく身近な隣人であるということ、十二年の一貫した教育の中で学べるのは、とても恵まれたことだと思います。生徒会の活動の多くは、学校を陰で支える目立たない仕事です。しかし、どの活動を通して、そこにはたくさんの人が関わっていること、その人たちが私たちの学校生活のため、力を尽くしてくださっていることを実感しました。自分の力が誰かの喜びや安寧につながる幸せ、同じように自分が誰かに支えてもらった時の感謝。そうして互いを大切に思いやりあって生まれる優しさの連鎖が、この学校の最大の魅力だと思います。



サードステージ生(12年生)
生徒会会長

ごあいさつ

Wonder*ful

世界は不思議に満ちています。

野の花が美しいのはなぜ？

宇宙の始まりはいつ？

私はだれ？

そして、今につながる不思議な出会い。

wonderfulはwonderとfulが組み合わさった「素晴らしい」という意味の英語です。

fulは「～がいっぱい」という意味。wonderは「不思議、驚くべきこと、奇跡」、そして「不思議に思う、思案する、思いめぐらす」という意味もあります。

さまざまな不思議な出会いによって私たちは形づくられています。家族、友だち、先生との出会い、だれかとのほんの一瞬の出会い、そして書かれたものとおしての時空を超えた出会い。

たった一言の出会いであっても、今の自分につながっています。

聖心女子学院では、一人ひとりがかげがえのないwonderfulな存在です。そして、みんながった

個性をもつwonderfulな存在です。豊かな自然と安心できる環境のもと、さまざまな出会いを

経験し、それぞれが心惹かれるそれぞれの「不思議」を自由にそして伸びやかに探究し、

気づきと発見の毎日をすごしています。そのなかで、自らのwonderfulなタレントを見出し、

それを磨く努力を続けます。

子どもたちは18歳になると、聖心女子学院から広い世界に羽ばたいていきます。

それぞれの場所でまわりの人々の幸せのために自分のタレントを発揮し、

それぞれのwonderfulな花を咲かせてくれるよう、私たちは日々種を蒔いています。



校長 藤原恵美



教育理念

聖心女子学院は、一人ひとりが神の愛を受けた

かけがえのない存在であることを知り、

世界の一員としての連帯感と使命感を持って、

より良い社会を築くことに貢献する

賢明な女性の育成をめざします。



校章のまわりを縁どっているのは百合の花で、清らかさを象徴しています。どのような状況にあっても、神から与えられた、神に属する清純さを保ちつつ、さらに成長していきます。百合の花の上には聖体が形どられ、神の愛に養われて成長し、互いに結ばれて共同体を作っていくことを意味しています。

18歳のプロフィール

聖心女子学院生18歳の姿

18歳のプロフィールとは聖心女子学院の教育理念と教育方針をもとに学んだ子どもたちが卒業する18歳時に身につけておきたい資質や力を示したものです。児童・生徒、保護者、教員が共有しながら、日々の教育活動や学校生活の指標としています。ここで紹介するのは、その一部です。60項目の全文は、HPでご覧いただけます。



魂を育てる

祈る心を大切にし、キリスト教の価値観に基づいて愛と希望をもって生きる姿勢を育てます。
謙虚に自己を見つめ、現実に向かって静かに向き合い、自らを深め、高めていくように導きます。
みずみずしい感性と、
他と共感できる豊かな人間性を育てます。

- ・ 自分自身も他者も、神からも人からも愛されているかけがえない存在であることを知っています。
- ・ 「人に尽くす」という生き方に価値があると分かり始めています。
- ・ 自分の経験をふり返り、考え、表現することができます。
- ・ 自分自身の人生の意味を探求し始めています。
自分自身の長所も欠点も受け入れ、成長の手がかりにすることができます。
- ・ 自分の中にある自己中心性に気づき、それを是正しようとしています。
- ・ いろいろな人たちに助けてもらい支えられてきたことに感謝しています。



知性を磨く

知的価値を重んじ、喜びをもって自ら学ぶ力を育てます。
創造性に富む堅実な思考力と、正しく判断する力を育てます。
広い視野で物事をとらえ、
自分の考えを明確に表現する力を育てます。

- ・ 各教科における基礎的学力が育っています。
- ・ 学ぶ喜びと学習の達成感を知っています。
- ・ 真理を追求したいという意欲が育っています。
- ・ 知的好奇心が育っています。集中力が身についています。
- ・ 自分で考える力と判断力が育ち始めています。
- ・ 理論に基づいた判断力を使って、ものごとを分析する力が育っています。
- ・ 種々の情報を批判眼をもって判断することができます。



実行力を養う

人や社会と積極的に関わる能力を育てます。
骨惜しみせず働く習慣と、
誠実に他者に尽くす行動力を育てます。
責任感と謙虚な心を備えたリーダーシップを養います。

- ・ 自分自身の責任を明確に認識し、それを実行できます。
- ・ 限界のある状況の中でも、知恵を使って工夫を凝らすことができます。
- ・ 集団の中で、必要に応じて、リーダーシップをとることができます。
- ・ リーダーを助けて自分の役割を担うことができます。





制服

1960年(昭和35年)に制定されたスカート、ベスト、ブレザー、ブラウス、ワンピースに加え、2021年(令和3年)からは生徒会・児童会の発案により実現したスラックスを着用することもできるようになりました。寒い季節には、オーバーコートを着用します。

学童保育「ジョアニークラブ」



「社会に貢献する女性の育成」を建学の理念とする学校として、保護者を支援する学童保育「ジョアニークラブ」を開設しています。放課後に児童が安心して過ごせる環境を整えるとともに、親子のよりよい関わりをサポートします。

対象 1～6年生
 実施日時 授業のある日：授業後の放課後～18時30分
 長期休暇など授業のない日：8時30分～18時30分
 ＊8月中旬、年末年始、11月1日は開室しません。
 運営 特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール

お弁当の注文・パンの販売



お弁当
 初等科・中等科ではお弁当を注文することができます。旬の食材を使った手作りのお弁当を、アポルテフードファクトリーに委託しています。食の安全に配慮し、できるだけ無添加・国産の食材を使用しています。急病、急用でお弁当作りが難しい保護者や、介護や育児、仕事をお持ちの保護者を支える取り組みのひとつです。

パン・おにぎり(中高等科)
 中等科・高等科では昼食の補助としてパンとおにぎりを販売しています。パンは、高等科生がボランティアで販売を担当しています。仕入れ価格に上乗せして得た収益金は、東日本大震災遺児の育英資金として寄付しています。校内で購入でき、美味しく便利であるだけでなく、仕入れ・販売・寄付の各側面から自分たちの力を活かし、社会とのつながりを意識する場となっています。

2027年度入学生 入試日程

初等科1年

出願登録	9月6日(日)～10月3日(土)
願書受付	10月1日(木)～10月3日(土) 当日消印有効
面接	10月17日(土)または10月24日(土) ※どちらかを選択
入学試験	11月1日(日)
合格発表	11月2日(月)
入学手続き	11月4日(水)

初等科5年 転入・編入

出願登録	11月5日(木)～12月12日(土)
願書受付	12月10日(木)～12月12日(土) 当日消印有効
入学試験・面接	2027年1月16日(土)
合格発表	2027年1月16日(土)
入学手続き	2027年1月18日(月)

中等科1年 帰国生

出願登録	11月6日(金)～12月7日(月)
願書受付	11月16日(月)～12月7日(月)
入学試験・面接	12月21日(月)
合格発表	12月21日(月)
入学手続き	12月22日(火)

中高等科 転入・編入

■2026年度9月転入編入試験

出願登録	5月25日(月)～6月26日(金)
出願期間	6月1日(月)～6月26日(金)
入学試験・面接	7月4日(土)

■2027年度4月転入編入試験

出願登録	11月6日(金)～12月7日(月)
出願期間	11月16日(月)～12月7日(月)
入学試験・面接	12月21日(月)

※各入試の募集要項・入学願書等は本校ホームページで順次公開配布いたします。
 ※入試日程等は予期し得ない事象など、止むを得ない事情により、変更になる場合がございます。恐れ入りますが本校ホームページをご確認ください。

★…初等科1年入学希望者対象
 ＊…初等科5年 転編入希望者対象
 ☆…中等科帰国生 編入希望者対象

説明会

4月25日(土)
 東京私立小学校展★

5月17日(日)
 Discover私立一貫教育
 東京私立中学合同相談会★★

6月6日(土)
 第1回学校説明会[初等科1年]★

6月20日(土)
 第1回学校説明会[初等科5年]★
 第1回学校説明会[中等科1年／帰国生]★

7月31日(金)
 海外子女教育振興財団主催
 帰国生のための学校説明会・相談会 2026★★

8月1日(土)
 JOBA主催 学校フェア 2026★★

9月5日(土)
 第2回学校説明会[初等科1年]★

11月14日(土)
 第2回学校説明会[初等科5年]★
 第2回学校説明会[中等科1年／帰国生]★

2027年3月
 キリスト教学校合同フェア★★★
 よみうりGENKIフェスタ★

公開行事

4月22日(水)、5月28日(木)、10月2日(金)、
 2027年2月17日(水)
 1年 授業公開★

6月6日(土)
 年長児対象 お遊び会★

6月20日(土)
 交流会★・体験授業★

7月9日(木)
 第1回5年転編入・帰国生 授業公開★★

7月23日(木)・24日(金)
 オープンスクール★★

10月9日(金)・10(土)
 みこころ祭★★★

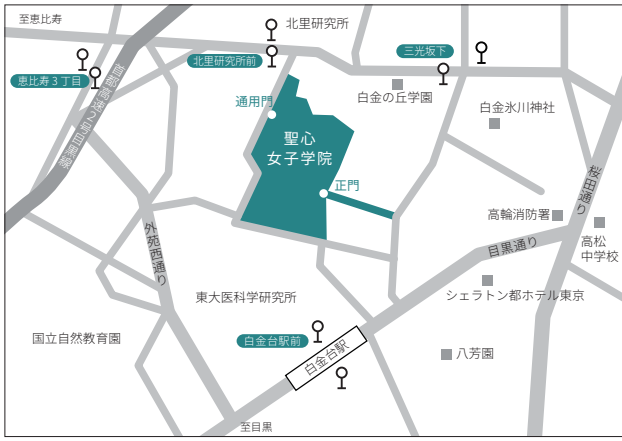
10月21日(水)
 第2回5年転編入・帰国生 授業公開★★

11月14日(土)
 5年転編入・帰国生 体験授業★★

2027年2月5日(金)
 学習発表会特別観覧★★

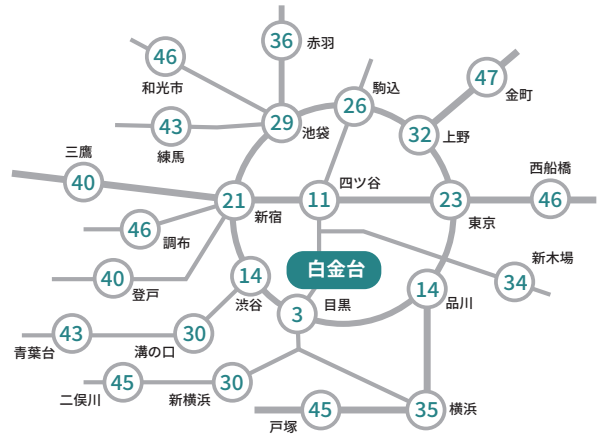
※説明会・公開行事は、予約が必要です。本校ホームページや主催者ホームページよりご予約の上ご来場ください。また、開催日等が変更される場合がありますので、本校ホームページにて随時お知らせする最新情報をご確認ください。よろしくお願いいたします。

<https://www.tky-sacred-heart.ed.jp/>



- 白金台駅より
東京メトロ南北線・都営三田線「白金台駅」2番出口徒歩10分
- 目黒駅より
都営バス:大井競馬場行「白金台駅前(東大医科研病院前)」下車徒歩10分
都営バス・東急バス:東京駅南口行「白金台駅前(東大医科研病院前)」下車徒歩10分
- 田町駅より
都営バス:渋谷駅行「北里研究所前」下車徒歩3分
- 渋谷・恵比寿駅より
都営バス:田町駅行「北里研究所前」下車徒歩3分
- 品川駅より
都営バス:目黒駅行「白金台駅前(東大医科研病院前)」下車徒歩10分

白金台駅までの所要時間の目安



学校法人 聖心女子学院 **聖心女子学院**

初等科・中等科・高等科

〒108-0072 東京都港区白金4-11-1
TEL 03-3444-7671(代) FAX 03-3444-0094

<https://www.tky-sacred-heart.ed.jp/>

